

2018年12月発売

横浜正金銀行マイクロ版 第14期

編集: 武田晴人(東京大学名誉教授)

全 61 リール(リール No.1280~1340) セット特価 ¥1,220,000

※16 ミリマイクロフィルム、表示の価格はすべて税別

第1集: 為替 2(リール No.1280~1294)	分売価 ¥345,000
第2集: 為替管理 1(リール No.1295~1313)	分売価 ¥437,000
第3集: 為替管理 2(リール No.1314~1340)	分売価 ¥621,000

第12期で収録した「為替 1」の続編となる「為替 2」と「為替管理の 1、2」を収録対象としている。

「為替 2」では、昭和 15 年末に成立した蘭印銀行との金融協定に基づく個々の為替取引に関する資料をはじめ、日貨基準の各国通貨に対する「公定相場」に関する資料、為替集中制あるいは凍結令に関する資料、外貨買取に関する大蔵省への報告書のほか、「大蔵省輸入許可額と本行取扱高」、「三井三菱輸出入為替取扱高」と表題された興味深い資料を収録している。

「為替管理 1・2」は、銀行内外の手続き等に関する業務参考的な色彩の濃い資料が中心であり、昭和 8 年から 19 年までの為替管理に関する業務の基礎資料と思しき膨大な「管理公信控綴込」及び「管理公信及号外」、日中戦争末期から太平洋戦争開戦期までに数多く出された為替管理・統制に関する大蔵省及び日本銀行からの通牒類、更には戦時期の「東京為替会」の協定に関する資料、銀及び金地金の輸出許可申請あるいは日本銀行券の現送に関する申請の記録、正金銀行の輸入信用状の発行状況に関する資料などを収録している。

関係資料

横浜正金銀行マイクロ版 第12期 全 55 リール セット特価 ¥1,100,000(税別)

頭取席為替課が作成し、為替関係として整理されていた資料群「為替 1」の 210 点を収録。横浜正金銀行の主業務であるだけに、その業務の範囲は広く、ここに正金銀行が行った実際のオペレーションの記録が集約されている。